

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」		
○保護者評価実施期間	8年2月2日		～ 8年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 (うち2名はきょうだい児)	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心・安全・快適に過ごせる生活空間の提供	食事の部屋・遊びの部屋・保育の部屋など視覚的にも構造化されており、子どもたちが見通しをもち、安心・安全に過ごせる環境を提供しています。	一人ひとりのお子さんが安定した生活を送れるように、ご利用人数や年齢、活動内容によって部屋の使い方を考えていきます。
2	幼児期に力を入れた支援	就学までのお子さんが安心して生活支援を受けることができるようなプログラムが実践されています。	専門職(OT・ST・PT・心理)と情報共有してお子さんの支援内容を考えたり、幼児期における食や睡眠の面からも法人の管理栄養士や看護師との連携も行っています。
3	相談から支援まで、総合福祉サポートセンターならではの取り組み	地域支援の中核センターとして相談員も常駐しており、お子さんの様子や支援の進捗状況を共有することができます。	相談員との情報共有を密にし、ご利用児とご家族の視点に立ち、就学までのよりよいサービスの提供を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	センターからの情報発信	センターからの情報発信ツール・福祉ソフトHUGが十分に活用されていません。	福祉ソフトHUGにてお子さんの様子についての情報共有は定着してきたので、タイムリーな情報や非常時等の対応マニュアル等においても活用を進めていきます。
2	センターと保護者とのつながり	今年度定期的にお子さんの様子を見ていただく日を決めオープンデーとしたが、まだ定着していません。	専門職への相談や支援者と直接情報共有できる日を設けていることを知らせていきます。
3	保護者支援活動	保護者同士が集えるような会や勉強会ができていません。	保護者会の開催や専門職等による研修会を計画し、保護者同士もつながっていくようにしていきます。

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」		公表日 令和8年2月20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・活動内容や年齢によって部屋を使い分けています。	・ご利用人数に応じて部屋の使い方を工夫し、情緒に配慮して環境を整えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	5	0	・ご利用人数やこどもの状態に合わせて、職員を配置しています。	・北域支援など外部に出向く際一時的に職員が減る場合は相談員が支援に携わっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・バリアフリー化しており、安全に配慮しています。ご利用人数など状況に合わせて動線を整えてその都度対応しています。	・専門職からアドバイスを頂いて適切な配慮ができるよう、その都度見直しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎朝清掃・消毒を行い、清潔を保っています。	・今後も定期的な環境整備を行い、安全で活動しやすい空間作りをしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・保育内容や構造化に合わせて使用できる環境になっています。	・効果的な利用ができるように専門職からアドバイスを頂いています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5	0	・グループ目標に沿って、職員全員が携わっています。	・改善点がある場合は、その都度話し合いを行い、見直していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者の意見を全体で共有し、改善に向けて話し合いを行っています。	・保護者向けアンケートを実施し業務改善に努めています。
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎月支援会議を実施し、課題に対しての話し合いをしています。	・改善点がある場合は、その都度話し合いを行い、見直していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・OT・ST・PT・心理等の専門職からの指導を受け改善しています。	・定期的に受審し、業務改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・法人内での内部研修に参加しています。	・専門職派遣を通して、資質の向上を図っていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・施設のホームページに公表しています。	・適切な支援ができるよう年度ごとに見直しを行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・契約時にアセスメント等を通してご利用児の特性に沿った支援計画を作成しています。	・支援者間で共通理解を図り課題設定に繋がっていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・支援会議等で支援内容に沿った話し合いを全員で行っています。	・ご利用児の様子を把握しより良い支援につなげていけるよう全体で検討していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・職員間で共有し計画に沿って個別や集団での対応をしています。	・目標や支援内容を全員で把握し、状況に合わせた支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・専門職とのカンファレンスでフォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントの両面から確認しています。	・フォーマルなアセスメントが十分に活用できるように努めています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらひ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・保護者から意見を伺い作成し定期的に見直しを行っています。	・質の高い支援が提供できるよう、ガイドラインに沿って設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・進捗のリーダーを中心に立案し全員で共有しながら行っています。	・ご利用児一人ひとりが意欲的に取り組み、達成感が得られるようなプログラムを考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・「認知」「手先操作」「運動」「制作」「リトミック」「SSST」「クッキング」等様々な活動を行い固定化しないよう工夫しています。	・午後からの活動も固定化しないように、ご利用児の状態に応じて柔軟に行っています。

関係機関や保護者との連携

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・基本的な生活習慣の確立や集団活動を通じて、コミュニケーション力や社会性が身に付くよう計画し支援しています。	・保育支援と生活面や集団活動での支援がバランスよく行えるよう課題を立てて取り組んでいます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・朝礼時に確認し、ボードを利用し変更点など共有できるようにしています。	・朝礼時に、保育内容・伝達事項など共有し配慮に努めています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・翌朝の朝礼時に振り返りと情報共有を行っています。	・職員間でのコミュニケーションを密にし、急ぎの要件は当日中に全員で情報共有を行うようにします。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・毎日記録をとっています。日々異なる職員が記入するため、様々な視点の記録になっています。	・支援会議等で記録内容を共有し、検証・改善につなげていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・定期的にモニタリングを行い、専門職からの情報も活用し見直しを行っています。	・今後も職員全員で連携していきます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者が参画しています。	・必要に応じて保育士も参加していきます。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・相談支援専門員を通じて連携をしています。	・医療との連携についても体制を整えています。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・必要に応じて行っています。状況に応じて情報共有を行い相互理解を図っています。	・移行支援とし、保育所等に訪問し、関係機関と連携して相互理解に努めています。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・就学前の会議等を通じて情報共有を行っています。	・移行先の担任の先生との情報共有にも努めています。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	0	・併行利用している事業所と連携し、充実したサービスが提供できるようにしています。	・今後古情報共有や連携を図っていきます。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	・定期的に専門職からの助言を頂いています。	・外部研修の参加についても機会を増していきます。
30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	0	・管理者が参加しています。	・今後も参加の機会を増していきます。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	・並行通園先での交流を検討しています。	・行事参加等を通じて、交流の機会を検討していきます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・日々の様子を連絡帳や福祉ソフトHUGにて情報共有を行っています。また送迎時や必要に応じて電話連絡でも共通理解を図っています。	・今後も丁寧な対応を心掛けていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・定期的に"オープンデー"を実施し、専門職に相談できる場を設けています。	・家族が参加できる研修開催を増していきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時、保護者の時間が可能な限り1つずつ説明しています。質問等にはその場で対応しています。	・保護者の方の時間が許さ限り、今後も丁寧な説明を心掛けていきます。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・定期的に面談を行い、保護者の意向を確認しています。	・今後も保護者の意向を丁寧に聞くことを心掛けていきます。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・半年ごとに児童発達支援計画を保護者に提示しながら説明をし、同意後サインを頂いています。	・保護者の都合の良い時間に合わせて対応し、丁寧な説明を心掛けていきます。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・連絡帳や福祉ソフトHUG、電話などを通じてその都度相談に応じています。	・福祉ソフトHUGの導入により、時間を問わずつながりができつつある。活用が広がるようにしていきます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	・保護者会を開催できずでしたが、親子遠足で交流する機会を設けました。	・今後は保護者同士が交流できる会を開催します。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・申し入れがあった場合は、迅速に対応できるようにしています。	・今後も適切に対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・「プリンちゃんだより」を毎月各家庭に配布したり、法人HPにて行事の様子等を掲載しています。	・福祉ソフトHUGでタイムリーな情報を発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報のファイルは鍵付きのキャビネットに保管しています。	・今後も十分に留意して扱っていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・ご利用には視覚支援カード等を用いた支援を行っています。保護者については電話連絡等で情報伝達をしています。	・今後もスムーズにコミュニケーションがとれるよう配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	5	0	・大瀬川やみのり村作品展に作品展示を行い、広く活動について知っていただきました。	・地域の方々と交流ができるような行事を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・職員間でマニュアルをもとに定期的な訓練を行っています。	・家族に向けてマニュアルの周知が進むよう、福祉ソフトHUGの活用を検討します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・月に1回様々な災害を想定した訓練を計画・実施しています。	・今後も避難の仕方など災害を想定した訓練を行っていきます。
	47	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	・契約時に服装や現病歴・該予防について確認しています。	・今後右面状時に確認して把握に努めます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・契約時に管理栄養士よりアセスメントシートを用いて確認した後、全体で共有しています。	・今後も家族と連携をとりながら対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。	・今後も安全管理に努めていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・子どもの安全確保に関する計画があり、スムーズに連絡が取れるようにしています。	・福祉ソフトHUGで家族への周知がスムーズに行えるように整えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・日々記録を残すと共に再発防止会議を行っています。	・結果を検証し対策を講じる等迅速に行っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・マニュアルの周知及び外部講師を招いた研修会等に参加しています。	・研修参加及び伝達研修を行うことで職員全員が虐待防止の意識付けを行っていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・会議において組織的に決定する体制を整えています。	・今後やむを得ない場合が生じた際は、十分な説明と了解をもとに計画に反映していきます。	

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年2月20日

事業所名: 児童発達支援 児童発達支援センター「ブリンちゃん」

対象人数(保護者)28人 回答者数 13人 回収 46.4%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				
	②	職員数は適切に配置されていると思いますか。	12	1			安心安全な環境が常に確保できるよう適切な配置を継続していきます。
	③	事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1			引き続きバリアフリーを維持し、視覚支援等を行いながら配慮をしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1			保育・活動内容に応じて各部屋の使い方を工夫し、活動しやすい快適な環境作りを行います。
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2	1	保育園等にはないプログラムを実施していただけていると思うが、集団で行うものなのでそれが個々の発達段階に必ず沿っているかという所はわかりません。STの介入が決められた人数しかできなかったためもっと多かつたらとおもう。	個々の発達段階に沿った支援を提供できるように、引き続き各専門職からのアドバイスを取り入れた保育・活動を行っていきます。STをはじめ専門職の対象児数を増やせるよう検討します。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13				
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13				
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1			各項目ごとにわかりやすく、適切でより具体的な支援内容を設定した支援計画書の立案を行います。
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1		細かい活動内容は事後報告なので、カレンダーの予定を見ただけでは違いはわかりませんが、ある程度の固定化は良いのではないのでしょうか。	HUGアプリでの活動予定の中で、プログラム内容についてもお知らせできるようにしていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	① 事業所を利用する際に、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				
	② 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				
	③ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		オープンデーが多いので1回でも様子を見に行ける機会があるのは安心ですし有り難いです。	オープンデーや歯科講習会等、今後より多くの保護者の方に参加して頂けるよう日程や開催の仕方について検討します。
	④ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				
	⑤ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	4		開放日に行けば助言を求めたりお話しする機会があると思いますが、行けない方はどうでしょう。	オープンデー以外にも面談等の機会を定期的に設けられるよう計画を進めていきます。
	⑥ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	3		個人差あると思います。	
	⑦ 保護者同士の交流する機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5			おしゃべり会の開催日程が決まり次第、HUGアプリにてお知らせします。きょうだいへの支援に対する要望等についてのアンケートをとる等、次年度に向けて計画していきます。
	⑧ こどもや家族からの相談や申入れについての体制が整備されていると思いますか。また、そのような場があることについて周知・説明がなされ、迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		アプリあるので気軽に相談はしやすいと思います。	相談や申入れは、電話・HUGアプリ・対面等、いつでもお受けいたします。体制整備の周知も定期的に行っていきます。
	⑨ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				
	⑩ 定期的にホームページやおたより等で、活動や行事予定、自己評価の結果がこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1			HUGアプリを活用し、より多くの情報を発信していきます。
	⑪ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				
非常時等の対応	⑫ 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が事業所内で公表されているのを知っていますか。また、発生を想定した訓練の実施状況が事業所から発信されていますか。	11	1	1	マニュアル拜見したいです。	保護者の方みなさんに知って頂けるよう、マニュアルの公表を行います。訓練の実施状況について、おたよりやHUGアプリ等を通じて発信していきます。
	⑬ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13				
	⑭ こどもの安全を確保するための計画について事業所から周知される等、安全の確保が十分に行われていると思いますか。	12	1		一対一の体制では無いので100の安全ではないと思いますが通常より目を配らないといけない環境の中で尽力してくださっていると思います。	安全計画の周知を行い、計画に基づいた訓練の実施等、安全確保を丁寧に行っています。
	⑮ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2			ケガ等起きた際は、速やかな連絡を確保に行います。発生時の状況の説明を確保・丁寧に行い、保護者の方の不安の軽減に努めます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	㊸	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1			環境(支援者・お部屋)に常に安心を感じてもらえるよう、丁寧な言葉かけを行いながら、過ごしやすい場所と感じてもらえるよう支援を行います。
	㊹	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	3		まだ分からないのでこれから期待します。	ひとりひとりが楽しみを持って登園できるよう個々の好む遊び・感覚を見つけ、心地良い感覚をたくさん得られる環境作りを行います。
	㊺	事業所の支援に満足していますか。	12	1			ガイドラインに沿った提供すべき支援を個々の発達段階に応じてひとつひとつ丁寧に提供できるよう、職員全員がチームの一員として支援の質の向上に努めます。

※1「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※2「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※3「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。